『笑顔は門真を救う！2時間4分テレビ！』

（ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会＆ネットの窓口＆門真市健幸づくりプロジェクト）

11月6日、市民公益活動支援センターのセミナー室で、「笑顔は門真を救う!2時間4分テレビ」（YouTube生配信）が行われました。

内容は、高齢者がリレー方式で歩きながら地域をつなぐ「RUN伴（ランとも）＋門真」の中継、メイン会場（セミナー室）からは、高齢者のチャレンジ動画や笑顔のつながり動画の紹介、また歌やラジオ体操で高齢者を応援するお楽しみ企画が盛りだくさんの2時間4分でした。コロナ禍で集まることが難しく少人数の参加型でしたが、市民公益活動支援センターのWi-Fiを活用することで全国へのオンライン発信が可能となり、新たな地域活動のスタイルとして効果的であるように思われました。

参加者の皆さんが晴れやかな笑顔で楽しんでいる様子が画面を通じて伝わってきました。

市民公益活動支援センターは、「非営利」かつ「不特定多数の利益」となる、市民公益活動をサポートしています。

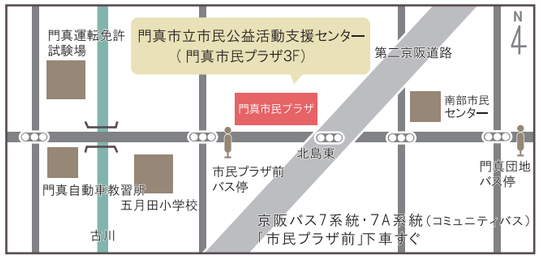
門真市立市民公益活動支援センター
〈指定管理者〉特定非営利活動法人 大阪NPOセンター

住　　所：〒571-0025 門真市大字北島546番地
門真市民プラザ3階
T　E　L：072-800-7431
F　A　X：072-800-7432
メ　ー　ル：ko-eki-c@aqua.ocn.ne.jp
開館時間：9:00～21:30
休　館　日：毎週木曜、年末年始（12/29～1/3）
ホームページ：www.kadoma-koeki-cnt.com

ホームページ SNSへのアクセスはQRコードよりどうぞ

ホームページ　フェイスブック　インスタグラム

※警報などの発令により、開館状況が変更となる場合がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。



Access

- 京阪バス7系統・7A系統（コミュニティバス）「市民プラザ前」下車すぐ
- 京阪本線「古川橋」駅（北口）からバスで約15分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南」駅からバスで約16分

あなたの想いをカタチにするお手伝い

公益times ~PUBLIC INTEREST TIMES~

門真市立市民公益活動支援センター

No.16
2021.11.30

TOPIC 1 「市民活動勉強会 ～地域公共人材と中間支援～」

9月19日（日）と26日（日）の2日間、（特活）きょうとNPOセンター フェローの久保友美さんを講師にお迎えし、「市民活動勉強会 ～地域公共人材と中間支援～」を開催しました。

各回とも、10数名の市民の方々にご参加頂き、

1日目は地域公共人材をキーワードとして、

◆分野や職業、組織の壁を超える

◆組織における「心理的安全性」

2日目は中間支援をキーワードとして、

◆地縁型組織と課題型組織の違い

◆仲間づくり・人集めの明確な正解はない

などを、楽しく学び合いました。

また、「どうすれば市民（地域）活動、ボランティアに関わりやすくなるのか」というテーマについて、参加者のみなさんでワークショップをおこない、多様な思いや意見が出ました。

◆good

・喜んでくれることが嬉しい
・子どもと一緒に参加できる
・世代を超えて、お互い尊重し合える（否定しない）関係

◆bad

・新参者が入りづらい雰囲気
・ボランティア＝無償の労働力と考えている
・役職などを、本人の意志を確認せずに押し付けてしまう

市民公益活動支援センターは、市民の方々がイキイキと、それぞれのスキルを活かしながら市民活動ができるように、「パイプ役（つな・ひき）の役割＝中間支援」を実践していきます。

最後に、参加者の感想を紹介します（抜粋）。

・とても楽しかったし、良い出会いの場となった。
・このような勉強会を続けて頂き、明るい楽しい門真にしていきたい。
・みなさんの意見が聞けて、悩んでいるのは一人では無いのだなと思えて、とても気持ちが楽になりました。
・みんなで議論したことで、立場によりいろいろな考え方があり、面白さと刺激を感じました。
・良い企画でした。門真のため、門真を良くしたいと思っている方が多く、今後が楽しみ。

TOPIC 2 「門真の井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる～」

「井戸端会議」の狙いは、「ひと・もの・かね・情報」などの資源を、多様なセクター（企業・NPO・行政・教育機関）などが共有（知恵を結集）することで、それぞれのセクターの「強み」を活かし、かつ、「弱み」を補い合うつながりをつくること。
そのつながりを基に市民公益活動を広げ、門真のまちづくり（市民公益活動）を実践していくことです。

8月7日 話題提供者
「NPO法人Happy mam」玉城 ゆかりさん

①理　念
すべてのひとり親が多様な選択肢ともっと親子の時間を持てるように孤立を防ぎ、夢と希望とつながりを。

②活動目的
生活に不安や悩みを抱えるひとり親とその子ども達に、食材支援･相談支援･コミュニティ創りを行うことで、ひとり親とその子ども達が夢や希望を持って健やかに暮らすことのできる元気な社会の実現に寄与することを目的としています。
◆一緒に助けて!と言える、優しい地域社会を
　ご近所さん「おせっかいおばちゃん?」
◆話をすることで、心の関係が築ける（半年から1年はかかる）
　悩みを打ち明けるきっかけに

http://happymam.net/

③2030年に門真がどうあるべきか?
2030年までに、誰もが普段着で集える
「コミュニティスペース」をつくりたい。
◆ポイント:多様な世代、若者の起業、敷居が低い、仲間づくりなど

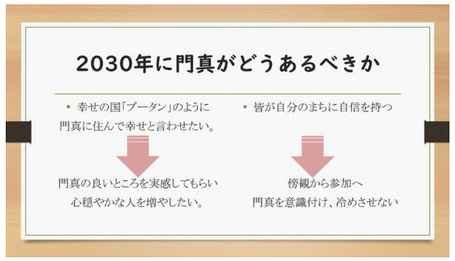
④話題提供を踏まえ、以下のような熱い議論が交わされました。
◆使命（ミッション）とスキルのバランス
　メンバー（ブレーン）の役割分担
　活動の持続可能性
◆感謝を言葉にすること
　共感者が生まれる
◆言葉を発して、すぐ動くことが重要
　走りながら考える
◆団体や組織のつながりではなく、人と人のつながりが大切
　人のつながりが強み
◆実践家の話を聞いて、はじめて実態が分かった
　高校生が子ども食堂に行きたくないなど
◆みんなで褒め合おう
　自画自賛もOK
　できていることを伸ばす

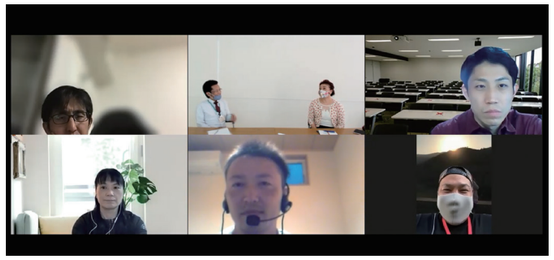
10月30日　話題提供者
「カドモアゼル」叶 みきジェンヌ（北中 美紀）さん

①理　念
カドモアゼルとは、かどまで「暮らす」･「遊ぶ」･「楽しむ」活き活きとしたそんなみなさんを私たちはそう呼んでいます。老若男女問わず、かどまを楽しむ皆さんのこと。
気持ちが合う友達とグループを作り、主婦目線でかどまを楽しむ、盛り上げる。

②叶 みきジェンヌ（北中 美紀）さんの経緯
45歳まで一切かどま、地域に興味なし。
子育てが終わり、「門真市民大学」をきっかけに、住んできたかどまに一気に興味がわく。
それからは、芋づる方式に色んな講座や会議、イベントに参加。そして、自分たちでイベント企画。

③2030年に門真がどうあるべきか?





④話題提供を踏まえ、以下のような熱い議論が交わされました。
◆傍観から参加へ
　やってみよう!という市民を増やせば、かどまは変わる
　受け入れられる心の広さ（深さ･余裕）を感じる
◆主婦の良さを活かしている
　肩書きが無いので不要なバイアスが働かない
　人と人との純粋なつながり
◆「遊び尽くす」というスタンスは、行政職員も取り入れてみてはどうだろう
　面白くなかったら続かない
　やりたいからやっている（やらされていない）
◆まちづくりにおいて、企業人はスタートダッシュの役割で、見守ってくれるのが主婦なのかもしれない
　ステークホルダーとして、役割分担ができる

素朴な疑問をセンター長に聞いてみたコーナー vol.2

Q. NPOって、たまに耳にするけど、何なん?
NPOは、Non（Not） Profit Organaiztionの略で、日本語で言うと、非営利組織となるね。分かりやすく言えば、営利を目的としない団体じゃな。具体的に営利を目的としない団体を挙げると、ボランティア団体や自治会。もう少し広く見てみると、学校法人や社会福祉法人もNPOなんよ～。ちなみに、NPO法人は、特定非営利活動法人法（いわゆるNPO法）に基づいて認証された法人格を持った団体のことなんじゃ。

Q. NPOって、儲けたらダメなんよね?
さっき言うたように、NPOは非営利組織、すなわち、営利を目的としない団体じゃったよね。
まず、営利と非営利をきっちり定義しておいた方がええかな。
　①営　利：利益をメンバーに分配する　　（例）株式会社
　②非営利：利益をメンバーに分配しない　（例）NPO
ポイントになるのが、利益を「分配するか」「分配しないか」ってことなんよ。
つまり、NPOは利益を分配しないだけで、利益を上げる（儲ける）ことは問題ないんじゃ。